

達成状況評価書(平成24年度)

部局名:低温センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、専任教員は、工学部・工学研究科、理学部・理学研究科等を兼務し、講義によって教育活動に協力しており、適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、低温工学を基礎とする安全な実験環境に関する研究や低温・強磁場下における物性研究などを精力的に行い、また本センター教員と理学研究科や極限量子科学研究センターの教員がメンバーとなり、本学「最先端ときめき研究推進事業」を推進し活発な研究活動を行う(学会発表数: 13件)など、適切に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 該当なし。</p> <p>【特記事項】 該当なし。</p> <p>【留意事項】 該当なし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、吹田分室、豊中分室ともに技術職員の定年退職等に伴う、新人職員の配置および着実な技術継承を行うとともに、豊中分室のヘリウム液化装置更新について平成26年度概算要求事項とすることを決定し、大学本部に關係資料を提出するなど、装置更新に向けた作業に着手するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、10月頃より日本国内でヘリウム不足が深刻化し、液体ヘリウムの安定供給に苦勞する中、ヘリウムガスのリサイクル利用を継続して促進することで、省資源や省エネに配慮しながら、安価で安定した液体ヘリウムの供給を行うなど、積極的に実施している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>